

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	1118	(H.26)No.	1118
-----------	------	-----------	------

事務事業名	交通安全対策事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	都市計画室	山森 幹	

会計区分	事業コード	382501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	交通安全対策事業	
項 土木管理費	(小事業名)	
目 交通対策費	交通安全対策事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施 策	1	交通対策
	小 施 策	1	交通安全の推進
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
交通安全に係る啓発活動の継続的な実施や、参加・体験型研修の推進等により、市民の交通安全意識の向上、交通事故防止の徹底を図ります。
事業内容
季節ごとに実施される交通安全運動における啓発活動や、保護者会等を対象とした交通安全研修会、及び生活安全推進協議会交通安全部会活動に取り組みます。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>各季別の交通安全運動期間中に啓発活動を実施</li> <li>交通安全部会委員を対象に研修会を実施</li> <li>保護者会等を対象とした交通安全研修会を実施</li> <li>市内中学校において交通安全部会主催の自転車等の交通安全啓発活動を実施</li> <li>交通安全部会を主体に県の交通安全シルバーリーダーへ参加</li> <li>交通安全啓発物品購入(165千円)</li> <li>交通安全部会活動装備更新費用(156千円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全啓発用品等購入</li> <li>交通安全部会活動装備更新費用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全教育DVD購入費</li> <li>交通安全啓発用品購入費</li> <li>交通安全部会活動装備更新費用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全教育DVD購入費</li> <li>交通安全啓発用品購入費</li> <li>交通安全部会活動装備更新費用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全教育DVD購入費</li> <li>交通安全啓発用品購入費</li> <li>交通安全部会活動装備更新費用</li> </ul>

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	321千円	252千円	350千円	350千円	350千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他( )	321	252	194		
一般財源	(0)	0	156	350	350
人工数					
職員	0.50人	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 3,750千円	3,375千円	3,375千円	3,375千円	3,375千円
①+②総事業費	(0千円) 4,071千円	3,627千円	3,725千円	3,725千円	3,725千円

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
学校関係では、交通安全部会による講習会を開催や三重県の事業である交通安全シルバーリーダーに参加するなどの取組みも行いましたが、地域向けの交通安全研修会の開催等については、より積極的な活動が必要とされています。	地域づくり単位においても、生活安全推進協議会交通安全部会の委員を通じて、警察、交通関係団体等と連携しながら、より積極的な啓発活動を推進します。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	各季の交通安全運動や毎月の街頭啓発の実施により、市民一人ひとりの交通安全意識の浸透・高揚に一定の成果がありました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	生活安全推進協議会交通安全部会委員は、地域づくり組織から推薦をいただき、委員の活動を実践しています。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
交通事故防止を徹底するためには、引き続き啓発活動を推進し、市民に交通安全思想の普及・浸透を図る必要があります。今後も交通安全部会委員を中心に警察や交通関係団体等と連携して、積極的な取組みを推進していきます。	